東部海浜開発事業についての疑問等

2007.4.14

指摘

- 他国の機関から中止を求められたらしいがその対応は
- 環境省の関与、要請
- 環境団体からの指摘事項
- 訴訟の経緯について
- 県外部監査人報告書について

会議のあり方

- 市民調査(学術調査)データの収集をどのように行うか
- 干潟を見る(観察会) 済
- 市が出した事業計画(資料)の内容について精査すべき
- ワーキンググループの提案1、環境2、事業、3市街地との連携
- 会議の進め方、反対意見推進意見のヒヤリング結果に対し、それぞれ解決案と問題点を精査し比較検討する
- 各委員への外部からのアプローチは慎重にあるべき 済
- 社会消費、投資型公共事業依存体質の改善は出来るか？

提案

- 3R(reduce, ruse, rcycle)のno.1の都市
- 姉妹提携都市の老人福祉を担う(介護予防、リハビリ、要介護)可能か？
- 新たなマリンシティ施設プラン

現状

- これまでの環境調査の結果について

泡瀬干潟の価値

- 干潟とは(定義) 済
- 希少生物はどれだけいる？ 済
- 昔の干潟はどうだったか？
- 干潟に影響を与える要因
- 今のままだと干潟はどうなる？
- 環境について、地元から見た価値・地域から見た価値(学術的価値)の整理が必要

周辺環境

- 干潟北側(SAM's側)が議論から抜けている？
- 浄化槽の状況 済
- 比屋根湿地の調査データ 済
- 下水道の状況 済
- 干潟への生活廃水流入 済
- 漁港の排水、ゴミ処理、ヘドロ堆積
- 現状での海岸の環境について 済

問題提起

- 開発しないことが自然を守ることなのか
- 埋め立てが不要な理由

現計画の疑問

- 防災対策
- 防災対策は誰がするのか
- 環境保全対策はどのようなことが考えられているのか
- 平成元年の計画案からH7年に策定された現計画に至るまで4回の見直しがある、その後の11年間は見直しがされてないのは何故か
- 環境影響評価が正当に行なわれたか
- 米軍用地の共用使用地について 済
- 人工干潟は可能か？
- 海を生かせる環境を整え海を生かした地域作りとしているが陸地間の海域のよどみなど今より汚染がひどくならない根拠は？
- 本当に出島が良い？

土地利用

- マリーナの利用形態、想定、利用料金、どんな施設があるか
- 事業(リゾート施設、ホテル等)の需要予想
- 宅地は県外、外国向け
- 1275部屋のホテルのイメージコンセプト
- 教育研究施設はどのようなものを考えているのか？

効果

- 経済効果の試算はなされているのか？(根拠は？)
- 住宅用地や公共施設面積が大きく、ホテル等商業用地が少ないのに国際観光の形成、市の経済活性化につながる雇用創出が見込めるとしている根拠
- 何を持って雇用拡大なのか

市民負担

- 人工ビーチ等の各施設の維持費ごとの負担先と財源と金額(年間)は？
- 市民負担が少ないとしているが起債(税金)の負担は同市が負うもの、費用対効果は同市に恩恵が得られるかもを考える？
- 事業計画の収支予想
- 現在想定できる国・県の総事業費は？
- 必要となる金額はいくら、下水に区画整理等
- 人工ビーチ等による漁業への影響
- 事業推進時と中止時(現状利用)の場合とでの各々の経済的価値(効果)の試算は行われているか？
- 財政負担のシミュレーション

事例

- 新港地区の水路の水質、土壌データ
- 事例の紹介(出島方式)
- 中城湾の他地域においての埋立て前後の環境調査データがほしい
- 新港地区の植栽されたマングローブ林の生育状況や現状、問題点など
- 県総は工法や自然環境のモデルとなるとよい 済
- 比屋根湿地に、出島と現海岸線との間に出現する広大なマングローブ湿地である。 済
- 自然型護岸の効果、改良点
- 他に似た事業はあるか(他の地域)
- 中城の他地域での状況は？(土地利用、経済)
- 沖縄本島人工ビーチの状況(計画含む)
- モデルとなる地域はあるのか

国・県の役割

- 通信基地用地の部分返還の要請
- 通信基地ではダメ？
- 県と市の間で結んだ協定書について(土地の利用や処分に関すること)
- 国の参画の正否は検討されたのか。
- 国が参画するまで認可されなかった理由
- 大きさは適当なのか

浚渫土砂

- 事業の大きな目的は？浚渫土砂の捨て場となってないか 済
- ここじゃなきゃだめなのか
- 浚渫土砂量と埋め立て必要量に見合っているのか 済
- 土砂はどれだけ利用できるのか？
- 新港地区の浚渫土砂の処理方法として他案はないのか(泡瀬埋立て以外の方法)検討は？
- 土砂の品質は埋立てに適している？
- 何故FTZの浚渫が新港地区と同時に出来なかったか

新港地区

- 現在の工事の進捗状況 済
- 国としての事業に対する意見 済
- 沖縄県としての本事業に対する意見
- 広域としての都市計画グランドデザイン
- FTZ浚渫の中止・変更はありうるか
- 新港地区ではダメ？
- 新港地区の計画(概要)はどうなっているのか？ 済
- 新港地区の活用は可能か？ビジョンは？
- 新港地区の利用状況
- 新港地区の変化

市の権限

- 行政ルール上で市が(事業に不参加の場合、何が起こる？
- 市の決定が国に反映されるのか
- 沖の努力によって変更できるものとできないものに整理して議論する。

市の現状

- 周辺土地区画整理事業の計画人口ビルドアップ率
- 現状の市の財政状況について
- 県総合運動公園の利用形態、利用状況
- 周辺の宿泊施設の稼働率はどうなっているか
- 交通渋滞、交通体制について
- 干潟周辺の道路、駐車場の整備

市の関連計画

- 総合計画での東部地区の位置付け
- 沖縄市としての都市計画グランドデザイン
- 県総合運動公園との連携 スポーツコンベンションって何？

中心市街地

- 埋立地と現市街地との連携計画はあるのか？(ドーナツ化現象を起こさないために)
- 中心市街地と役割分担
- 中心市街地との連携は？
- 地元商業施設との競合、共倒れ
- 街が発展する保障があるのか

環境の保全

- ゴミ拾い！！地元の方の活動
- 干潟にゴミ箱設置
- 干潟にある市の看板
- 興味のない市民への広報
- 市民への広報について、現在の手法以外にやるべきことは

市民意識

- 守りたい自然資源、活用したい自然資源
- 市民が考える東部地区での好きな場所大切だと思うもの
- 東部海浜事業が完了したときそこでどんなことがしたいか
- 市民の事業への理解度は
- 市民は今回の計画をどう考えているのか、これまでの意向調査の内容
- 現状での市民の参否

市民の意見

- これまでの調査データをどのように平易にまとめるか？手法を考える必要がある
- 最新のアンケートを取る
- 市議会での意見
- 過去に行われた市民アンケートの内容(全文)実施人数と回答数、回答の結果が知りたい

市民広報

- 埋立てたらどうなる 最悪 最良
- メリット、デメリット
- 埋立が必要な理由？
- 継続、持続、自立への方策

関連 / 検証 / 課題 / 役割分担